

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
 峰山統合保育所・幼稚園

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)201  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40			<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				3.0	0.15			3.0
1.1 騒音				3.0	0.40			
	1 室内騒音レベル			3.0	1.00			
1.2 遮音				3.0	0.40			
	1 開口部遮音性能			3.0	0.30			
	2 界壁遮音性能			3.0	0.30			
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	0.20			
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	0.20			
1.3 吸音				3.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>				3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50			
	1 室温			3.0	0.60			
	3 外皮性能			3.0	0.40			
	4 ソーン別制御性							
2.2 湿度制御				3.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>				3.0	0.25			3.0
3.1 屋光利用				3.0	0.30			
	1 屋光率			3.0	0.60			
	2 方位別開口			3.0	0.40			
	3 屋光利用設備			3.0	0.30			
3.2 グレア対策				3.0	0.30			
	2 屋光制御			3.0	1.00			
3.3 照度				3.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>				4.2	0.25			4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.50			
	1 化学汚染物質	内装使用材料は規制対象外材料を使用		5.0	1.00			
4.2 換気				3.6	0.30			
	1 換気量	建築基準法及び学校環境衛生基準を満たす換気量の1.4倍以上		5.0	0.33			
	2 自然換気性能			3.0	0.33			
	3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33			
4.3 運用管理				3.0	0.20			
	1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	0.50			
	2 喫煙の制御			3.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>					0.30			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>				3.7	0.40			3.7
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40			
	1 広さ・収納性			4.0	1.00			
	2 高度情報通信設備対応			4.0	0.30			
	3 バリアフリー計画	バリアフリー法の移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満足		4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30			
	1 広さ感・景観	保育室 平均天井高3.0m以上確保		5.0	0.50			
	2 リフレッシュスペース			3.0	0.50			
	3 内装計画			3.0	0.50			
1.3 維持管理				3.0	0.50			
	1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50			
	2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.1	0.31			3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48			
	1 耐震性			3.0	0.80			
	2 免震・制振性能			3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.33			
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23			
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23			
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09			
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08			
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上のB使用、Eは不使用		5.0	0.15			
	6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23			

2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	光ケーブル・メタルケーブル(ADSL専用回線)等に対応可能な配管	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.8	0.29		-	2.8
3.1 空間のゆとり			2.4	0.31		-	
1	階高のゆとり		2.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽等により良好な景観を形成	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-			-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20		-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電設備を利用	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			3.8	0.30		-	3.8
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=13.2%	3.0			-	
集合住宅の評価						-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		再生骨材の路盤材利用	3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.60		-	
2 砂塵の抑制			3.0	0.20		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光源のワットが低いLEDを採用	5.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	